ねんきんだより Pensions News

口座振替がお得 国民年金保険料金

口座振替を利用することで、金融機関などに出向く手間と時間が省けます。

◎２年前納（口座振替）のメリット

【メリット１】
２年間で１万５千円程度の割引となります。

【メリット２】
２年前納分の全額がその年の社会保険料控除の対象となります。

【メリット３】
口座振替をご利用することで、納め忘れを防ぐことができます。

２年前納は口座振替・現金・クレジットカード納付が可能です。納付方法により割引額が変わります。

また、口座振替には当月分保険料を当月末に振替納付することにより、月々50円割引される早割制度や、現金納付よりも割引額が多い「６か月前納」「１年前納」もあり大変お得です。お申し込み期限は毎年２月末までです。

ー問合せー
年金加入者ダイヤル
☎０５７０ー００３ー００４

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

家庭用蓄電池の勧誘 勧誘されても慎重に！

【事例】

現在契約中である大手電力会社の社員を名乗る女性から「電気のことで話があるので訪問したい」と電話があったので了承した。後日来訪した担当者から「家庭用蓄電池を設置して電力会社の契約プランを変更すれば電気料金が半額になる」と勧誘され、その場で工事費込み１１０万円の契約を取り交わした。

しかし、その後の電気料金は、ほんの少し安くなっただけで、説明とは明らかに違うため、解約したい。（60歳代 男性）

【ひとこと助言】

電気料金が安くなるなどと事業者に勧誘されても、その場での契約は避けましょう。また、契約するつもりがない場合はきっぱりと断りましょう。

家庭用蓄電池の導入には初期費用が発生します。メリットだけでなく、設置後のメンテナンス費用なども十分確認し、総合的に判断することが大切です。

事業者の説明をうのみにせず、情報を収集したり、家族や身近な人に相談するなどして慎重に判断しましょう。

困ったときは、すぐに消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系			外科系	耳鼻科
２月６日（日）	須田内科医院 ６３－１４１４	たけい小児科アレルギー科※ ７６－２５２５		井上整形外科医院 ８２－１１３１	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
２月11日（祝）	横田胃腸科内科 ７２－４９７０	ましも内科・胃腸科 ６２－２０２５	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	－
２月13日（日）	高橋クリニック ７５－７７７２	うえの医院 ７２－３３３０		しんじょう整形外科クリニック ５５－３６２３	－
２月20日（日）	寺内医院 ８８－１５１１	堀越医院 ７３－４１５１		富士クリニック・ペインクリニック ２０－１９７１	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
２月23日（祝）	黛泌尿器科内科医院 ６３－７８００	たなか医院 ６２－２８８１	益田小児科医院※ ６２－５５３５	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
２月27日（日）	三浦医院 ６２－２９１７	横田医院 ７２－０２５５		明和セントラル病院 ８４－１２３４	
３月６日（日）	館林記念病院 ７２－３１５５	阿部医院 ６２－５４２８		岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
３月13日（日）	竹越医院 ８４－３１３７	星野こどもクリニック※ ７０－７２００		館林市夜間急病診療所 ７３－２３１３	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院　☎７２－３１４０（内科系・外科系） ◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター ☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●館林厚生病院※の予約時間は、午前９時～午前11時（要電話予約）　●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。
●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

キャンプのお兄さんとして板倉っ子の思い出づくり

連れていった子どもたちが次の世代の思い出を作っていく

秋野　亮さん

あきの　りょう　35歳
大泉町　在住

板倉町青少年ボランティア会長の秋野さんは、普段は障害を持つ子どもたちのためのお仕事をされています。

この道に進んだのは、キャンプで子どもたちに関わったことが大きかったそうです。

※板倉町青少年ボランティアの募集記事が15ページにあります。

レポーター
広報編集委員
小薬智代（こぐすりともよ）

キャンプのお兄さん

キャンプのお兄さんとして、青少年ボランティアの活動をしている秋野さんと、キャンプ、自然体験スクール、新潟板倉との交流会などを一緒に経験した板倉の若者は、かなりたくさんいらっしゃると思います。

きっかけは高校時代

ボランティアに参加するきっかけは、当時在学していた板倉高校に募集チラシが配られたことでした。

３年生だった秋野さんは、高校生活の思い出づくりになるのではと、友人と小学５年生の自然体験スクールに参加しました。

自然体験スクールは、子どもたちにとって一泊二日のビッグイベントです。当時は２班に分かれての実施で、スタッフの中には二泊する人もいましたが、秋野さんは一泊の予定で参加しました。

しかし一緒に参加していた後輩に「帰っちゃうんですかぁ」と言われ結局もう一泊することになり、これが秋野さんの人生の大きな転換点となりました。

子どもたちの喜び、自分の喜び

青少年ボランティアにとって、夜のキャンプファイヤーが最も活躍する舞台となりますが、初日は子どもたちとの関わり方に戸惑いました。しかし、２日目となりキャンプファイヤーの進行をいきなり任されたのです。

普段は物静かな印象の秋野さんにスイッチが入り、昼間の山登りでくたくただったはずの子どもたちが一体となり、自分の進行で目を輝かせて踊ったり、ゲームをしたりして心から喜ぶ姿を見て、心からの充実感を得ました。

また次の世代へ

それ以来ボランティアを続けている秋野さん。連れて行った子どもたちが大きくなり、また次の世代の思い出づくりをしていきます。今は、活動ができない状況が続いていますが、板倉っ子は秋野さんたちを待っています。

子どもたちの思い出づくりのお手伝いをする秋野さんをこれからも応援したいと思います。